

「すいせいプレス」では青少年に向けたイベントのお知らせや報告を掲載しています。他にも市内各地区で行われる地域活動や私たち青少年指導員のコラムなども紹介しています。



是非一度アクセスしていただき、青少年指導員会 (青指) について知っていただければ嬉しいです!

「子供・若者育成支援強調月間」川柳入選作品のパネル展示期間について

子育で青少年拠点夢つながり未来館(ゆいぴあ)1階エントランスホール

11月1日(月)~14日(日)【月~土】10時~22時、【日·祝日】10時~20時

吹田市役所1階正面ロビー

11月15日(月)~30日(火)【月~金】9時~17時30分 ※15日(月)は正午~17時30分 【土曜日】9時~正午、【日・祝日】は閉庁のため見学不可 吹き

吹曲市イメージ すいたん

編集

だより

去年の春先から変わらず新型コロナの話題が途切れること のない世の中です。青少年に関わる各団体もコロナ対応に注 意を払いつつ制約のある活動になったり、開店休業状態にな っている地域もあります。広報宣伝報も対面での編集全議が

できない中での作成、発行となった「青少年すいた」 153号。中止、順延の言葉やマスクの着用、夜の帳が下りるころ閉まってしまう街が普通になり、何も感じなくなってしまいました。この原稿を書きながらもテレビから漏れる感染者減少と冬に来るであろう第6波のニュースに耳をそばだて、オンライン会議は確かに便利と思いつつ靴の上から足を掻くようで…。154号の校正・校閲は顔を突き合わせて行いたいものです。(豊津西地区 T・A)

●編集者一覧/久保 塩田 岸本 辻 松原 亀田 太田 瀧川 樋上 鈴木(栄) 山口(眞) 原田 中嶋 山下 榎本(祐)

■青少年相談機関

相談機関	電話番号	相談日時
青少年活動サポートプラザ・ 青少年相談(ぷらっとるーむ吹田)	06-6816-8534 〈直通電話〉	月~土曜日 10:00~20:00 日曜日 10:00~18:00
吹田市立教育センター教育相談 いじめのなやみ相談	06-6337-5411	月~金曜日 第3日曜日 9:00~17:00
子ども専用 「子どもの悩み相談フリーダイヤル」	0120-7285-25	24時間いつでも

■発行/青少年指導員会 ■編集/広報宣伝部

*この冊子は14,000部作成し、1部当たりの単価は7.35円です。



























育成指導部

青少年指導員のスキルアップのため、 研修会の企画と実施をしています。 前期は主に新任研修と、活動する上で 役立つ座学(食物アレルギーの対応、 コロナ禍での活動等)を行っています。 後期は体験学習の出来る施設(吹田市 自然体験交流センター等)の見学を行

環境調整部

11月の子供・若者育成支援強調 月間に合わせて啓発チラシを作成 し、学校、自治会を通じて配布してい

のぼり・危険防止看板の設置、点検 を行い、7月・11月に全市一斉合同 パトロールを行っています。



事業促進部

吹奏楽・バンド・ダンス等の発表の 場を提供することで、青少年の音楽活 動を応援しています。今年度はコロナ 禍のため、11月に吹田青少年野外コン サート(13日)、ヤングフェスティバル (14日)をメイシアターにて開催すること になりました。日頃の練習の成果を存 分に発揮してもらえるように縁の下の 力持ちになって頑張ります。

広報宣伝部

青少年指導員の活動を地域の皆さ んに知っていただくため、年2回広報紙 「青少年すいた」を発行しています。ま た、ウェブサイト「すいせいプレス | では 地域で行われたパトロールなどを写真と 共に紹介しています。

「すいせいプレス」は"吹田市 青少年 指導員会"の頭文字になっています!



令和3年度 青少年指導員会

新任·前期研修会 後期研修会



新任·前期研修会 R3·6·27

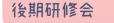
新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、オンライン開催となりました。

主に新任の方へ向けた研修会ということもあり、青少年指導員(青指)の活動を紹介するムービー を鑑賞したり、4つある専門部会の活動内容について各部長より説明を受けました(左ページ)。 また、尾﨑会長から出された「青指とは何か・これからの時代どうあるべきか」というテーマをもと

にグループディスカッションを行い、「地域間を繋いでいく存在に」「青少年が積極的に活動できる 取り組みを」など活発な意見交換をしました。

昭和30年代に発足した青少年指導員会ですが、未だにどんな活動をしているのかと思われるこ

とが多いのは、ネーミングが時代に合わなくなってきているのも原因のひとつ : なのかもしれませんね。今年度は活動について計画しづらい部分もありますが、 今私たちにできることを全力で取り組んでいこう、と気持ちを新たにしました。



R3 · 8 · 21

コロナ禍での会議や地域活動に活用できるように、「基礎からわかるオンライン 講座』と題して、(株)HackCampの小松紫穂里さんより講義していただきました。 オンラインを活用した事例をあげて、便利なツールを教えていただきました。

続いて、小学校3年生の男の子がスマートフォンで作成した動画と、制作過程 を見せていただきました。今まで無理だと思っていた動画配信がとても身近にな りました。

オンラインは、いつでもどこでも誰でも参加できるメリットがあります。コロナ禍で活用できる強い味方です。 とはいうものの、「会うことに勝る価値はない」。子供たちの笑顔を見られる日を楽しみにしています。



